

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名: おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートぎのぞん

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	3	0	0	様々な活動に合わせて環境設定行っ ている。	十分な広さではある。活動内容、利用者の状態によってスペースの確保を行っている。
	2	職員の配置数は適切である	3	0	0		適切であるが、児童の状況によって人で不足を感じる事がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	3	0	0	車椅子使用児童がいる為、介助が しやすいよう、トイレに手すりの設置を している。	建物の構造上、トイレの広さが十分ではない為、介助がしやすい広さの確保が難しいが、今後 検討していく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	3	0	0	日々振り返りを行い、改善へと繋がる よう実施している。	その日の振り返りを行い、職員全体で意見を出し合い、翌日のミーティングにて再確認等 を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	3	0	0	保護者の意向を、職員間で共有して いる。	アンケート内容の保護者の意向を職員間で共有し、業務改善に繋げられるよう対策してる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3	0	0	ホームページにて公表している。	毎年、ホームページで公開し対応を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	0	0		第三者の意見を聞き、業務改善につなげていく。
適切 な支 援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	3	0	0	定期的に、事業所内研修を実施して いる。	定期的に、事業所内研修、グループ法人研修、外部オンライン研修など参加ができています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	0	保護者の視点も尊重して、計画を作成 し課題を共有している。	ニーズなどを話し合い、共有しながら計画している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3	0	0	他機関で行われたアセスメントや 検査結果等を保護者から共有をいた だき支援の参考としている。	日々の状況によって変化等もある為、必要に応じて話し合いをしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行って いる	3	0	0	全員でプログラムを立案している。	次月の活動、おやつについて月の初めにアイデア等を出し合い立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	3	0	0	同じ活動にならないよう実施している。	「静」と「動」と交えながら活動の参加ができるよう工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	3	0	0	個々の状況に応じたプログラムを作成 し集団活動への取り組みにも力を入 れている。	利用者の成長面や課題面など考慮して工夫しながら対応を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせる放課後等デイサー ビス計画を作成している	3	0	0	個々の状態、子供同士の関係性、利 用状況などに応じ、日々の計画を行っ ている。	個別活動では、興味を持っているもの、情緒面など日々観察、報告、話し合いながら活動計画 を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	3	0	0	毎朝、ミーティングを実施し、支援内 容、送迎について確認し報告を行っ ている。	日々のスケジュール、送迎をより細かく組み立て、ミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	3	0	0	業務終了前、支援について振り返り を行っている。	その日の振り返りを職員一人一人発表を行い、改善等と見つけ次回へ繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	0	記録漏れがないよう2人以上で確認 している。	支援記録を記入し、内容を明確にしている。 正しく記録ができるよう、2、3人体制で間違いや、漏れがないか確認し、都度改善点について話し 合っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断し ている	3	0	0	半年に1回見直しを行っている。	モニタリング前後、職員間で話し合いを設け、その中で見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	3	0	0		基本的なところを把握しながら当法人の特色を出しているように支援していきたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	3	0	0	児童発達支援管理責任者が参画して いる。	事前に、利用者の状況を話し合い、内容をまとめて児童発達支援管理責任者が会議に参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	3	0	0	学校との情報、連絡は行っている。	お迎え時、その日の様子、次回利用日のお迎え時間などを確認している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	0	3		該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	3	0	0	会議に参加し、情報共有、相互理解に 努めている。	就学前の担当者会議に参加し、関係機関で状況等を情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	0	0	3		該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	0	0	今後、研修への参加、各機関と連携が 図れるようにしていく。	地域のスキルアップ研修等に参加し、職員間で情報共有をしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	3		系列事業所との交流会はあるものの、児童クラブ、児童館との交流がない為、今後一緒に活動を する機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	0	0	3		午後の時間帯の開催が多い為、参加が難しい状況ではあるが、今後は環境を整えて参加でき るようにする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	3	0	0	保護者と日ごろからコミュニケーション を図りながら情報共有を行っている。	お迎え時、送迎時など利用者の様子をお伝えし、家庭での様子、困り感などを確認し支援に 繋げている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	3	0	0	保護者より家庭での様子を聞き取り を行い、困り感、対応方法に適宜 提案を行っている。	利用者のその日の状況(情緒面)によって対応方法も変わる為、状況に合った対応の仕方、声掛 けの仕方など、家庭、事業所の方で一貫して支援ができるように対応を行っている。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	3	0	0	契約時に契約書、重要事項説明書の 説明、支援の内容、負担額など保護者 へ説明対応を行っている。	保護者がわかりやすいように説明を心掛けている。気になる部分がある場合、都度対応している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	3	0	0	必要に応じて、適宜行っている。	保護者から相談を受けた場合、助言を行いながら職員間で話し合い、支援について方向づけを 行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	0	0	3		年に一度、開催ができるように検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	3	0	0	クレームがあった場合、職員間で共有 し適切に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	3	0	0		毎月おたより、活動、おやつ表を配布している。
	35	個人情報に十分注意している	3	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	0	1日のスケジュール、時間などホワイト ボードに記載し、視覚支援を行い、 個々 に応じ絵、言葉カードを使用している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	0	0	0		機会を設けられるよう検討していく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0	0		職員間では、周知しているが、保護者がよりわかりやすいようにおたよりにてお知らせできるよう改善し対応を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	0	定期的に訓練を行っている。 防災研修センターなども利用して学習を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0	0	定期的に虐待防止についての研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0	0		該当者はいないが、身体拘束について職員間で共通理解をしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0	0		該当者はいないが、契約時、更新時に食物アレルギーがないか確認していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	0	活動や送迎時などに起きたヒヤリハットを 情報共有している。	日々、起きうるヒヤリハットについて原因、対応、改善策をしっかりと話し合い、確認していけるようにする。